

## 高齢者非小細胞肺癌切除症例の術後補助化学療法に 注目した前向き観察研究

【研究内容】本研究では、原発性肺癌(非小細胞肺癌)に対して手術を受けられた75才以上の患者さんの術後経過を、術後補助化学療法の受療の有無別に2年間前向きに観察し、全身状態の変化などを多施設共同で検討します。

対象:当院において2016年1月から2017年12月までに原発性肺癌(非小細胞肺癌)で手術をされた方を対象に研究します。

方法:

- 1) 診療録や検査レポートから本研究に必要な臨床データを抽出し、個人が特定できないように匿名化してデータセンター(一般社団法人九州臨床研究支援センター)に登録します。
- 2) 本研究に参加している九州肺癌研究機構(LOGIK)グループ施設から集められたデータを集計して、以下の項目を評価します。
- 3) 評価項目:術後の全身状態の変化、術後(無再発)生存割合、術後補助化学療法の完遂割合と有害事象。

【患者さんの個人情報の管理について】本研究の実施過程及びその結果の公表(学会や論文等)の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれません。

対象者となることを希望されない方は、下記連絡先までご連絡ください。

【研究期間】2016年1月1日より2020年2月29日までの予定です。

【医学上の貢献】本研究により、高齢者の肺癌切除後の治療選択や補助化学療法の有効性を探り、さらに臨床試験を計画するために必要な基礎的データを得ることが可能です。

【研究代表者】

矢野 篤次郎

国立病院機構別府医療センター呼吸器外科・臨床研究部・臨床腫瘍学研究室

連絡先:〒874-0011 別府市内竈 1473 Tel:0977-67-1111、FAX:0977-67-5766

【研究事務局】

福山 誠一

国立病院機構別府医療センター 呼吸器外科

連絡先:〒874-0011 別府市内竈 1473 Tel:0977-67-1111、FAX:0977-67-5766

【研究責任者・連絡先】

済生会福岡総合病院 外科

呼吸器外科・部長 米谷 卓郎

Tel.092-771-8151